

鋼 船 規 則

鋼 船 規 則 検 査 要 領

PS 編

浮体式海洋石油・ガス生産，
貯蔵，積出し設備

鋼船規則 PS 編
鋼船規則検査要領 PS 編

2015 年 第 1 回 一部改正
2015 年 第 1 回 一部改正

2015 年 2 月 27 日 規則 第 15 号／達 第 12 号

2015 年 2 月 2 日 技術委員会 審議

2015 年 2 月 23 日 理事会 承認

2015 年 2 月 27 日 国土交通大臣 認可

ClassNK

一般財団法人 日本海事協会

鋼 船 規 則

規
則

PS 編 浮体式海洋石油・ガス生産,
貯蔵, 積出し設備

2015 年 第 1 回 一部改正

2015 年 2 月 27 日 規則 第 15 号

2015 年 2 月 2 日 技術委員会 審議

2015 年 2 月 23 日 理事会 承認

2015 年 2 月 27 日 国土交通大臣 認可

2015 年 2 月 27 日 規則 第 15 号
鋼船規則の一部を改正する規則

「鋼船規則」の一部を次のように改正する。

PS 編 浮体式海洋石油・ガス生産、貯蔵、積出し設備

3 章 船体構造及び艀装

3.3 復原性等

3.3.1 一般

-2.を次のように改める。

-2. 浮体施設の水密区画の配置、水密隔壁及び閉鎖装置は、**P 編 5 章**、**C 編 4 章**、**13 章**及び **29 章**並びに ~~CSR-T~~**CSR-B&T** 編の関連規定によらなければならない。

3.4 船体構造

3.4.2 構造配置

-1.を次のように改める。

-1. タンクの大きさは、タンク内液体が浮体施設の縦揺れ又は横揺れに同調して動揺することのないようなものとするか、タンク内に制水隔壁を設けなければならない。ただし、**3.5.2-3.**の規定によりタンク内液体の動揺による荷重に対し、タンク内構造部材が十分な強度を有する場合又は ~~CSR-T~~**CSR-B&T** 編の該当規定に適合する場合は、この限りでない。

3.5 船型の浮体施設の構造強度

3.5.1 全体強度

-4.及び-5.を次のように改める。

-4. 貨物倉の構造強度について、**3.8**に規定する腐食予備厚及び ~~CSR-T~~**CSR-B&T** 編又は **P 編表 P7.1** の許容応力に基づき評価しなければならない。

-5. ムーンプールなどの開口近傍及び ~~CSR-TCSR-B&T~~ 編により詳細な強度評価が要求される箇所のうち、本会が指定する箇所については、~~CSR-TCSR-B&T 編付録-B.31 編 7 章 3 節~~の規定に準拠する詳細メッシュ構造強度解析を実施し、評価された応力は、~~CSR-TCSR-B&T~~ 編に規定される許容応力基準以下でなければならない。

3.5.2 局部強度等

-1.を次のように改める。

-1. 浮体施設の外板、甲板、タンクの隔壁、ヘリコプタ甲板等の板部材及びそれを支持する防撓材は、**P 編 7.3, 7.6** 及び **17.3.1** の該当規定又は **C 編**及び ~~CSR-TCSR-B&T~~ 編の該当規定によらなければならない。この場合、腐食予備厚の取扱いは、**3.8.3** による。

3.6 半潜水型及びその他の形式の浮体施設の構造強度

3.6.1 一般

-2.を次のように改める。

-2. 局部強度は、**P 編**、**C 編**又は ~~CSR-TCSR-B&T~~ 編の該当規定による。なお、この場合、適用する腐食予備厚は、**3.8.3** による。

3.8 防食措置及び腐食予備厚

3.8.3 腐食予備厚

-3.及び-4.を次のように改める。

-3. 構造部材の寸法について、~~CSR-TCSR-B&T~~ 編の規定を準用する場合は、以下のとおりとする。

(1) 板厚で規定されている部材の場合

算式により求まる数値に表 **PS3.3** の値を加え、**0.5mm** 単位に切り上げた数値とする。

(2) 断面係数で規定されている部材の場合

算式で規定される断面係数を有する防撓材について、それぞれウェブ及び面材の寸法を設定し、設定されたウェブ材及び面材の板厚にそれぞれに表 **PS3.3** の値を加え、**0.5mm** 単位に切り上げた数値とする。

-4. 前-2.及び-3.の適用において、**C 編**及び ~~CSR-TCSR-B&T~~ 編に規定する荷重に代えて、**2 章**により算定される荷重を用いることができる。

附 則

1. この規則は、2015 年 7 月 1 日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 施行日前に建造契約*が行われた船舶にあっては、この規則による規定にかかわらず、なお従前の例によることができる。
* 建造契約とは、最新の IACS Procedural Requirement(PR) No.29 に定義されたものをいう。

IACS PR No. 29 (Rev. 0, July 2009)

英文（正）

1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.
2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:
 - (1) such alterations do not affect matters related to classification, or
 - (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.
3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.
4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.

Note:

This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.

仮訳

1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。
2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1 つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあっては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。
 - (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、
 - (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから 1 年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。
3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2. に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。

備考：

本 PR は、2009 年 7 月 1 日から適用する。

鋼船規則検査要領

PS 編

浮体式海洋石油・ガス生産,
貯蔵, 積出し設備

要
領

2015 年 第 1 回 一部改正

2015 年 2 月 27 日 達 第 12 号
2015 年 2 月 2 日 技術委員会 審議

2015 年 2 月 27 日 達 第 12 号
鋼船規則検査要領の一部を改正する達

「鋼船規則検査要領」の一部を次のように改正する。

PS 編 浮体式海洋石油・ガス生産、貯蔵、積出し設備

PS3 船体構造及び艀装

PS3.7 疲労強度

PS3.7.2 を次のように改める。

PS3.7.2 疲労強度評価

疲労強度は、検査要領 P 編付録 P1 又は以下のいずれかの規定を準用して累積疲労被害度を算定して差し支えない。ただし、防撓材の参照応力は、規則 PS 編 2 章における確率レベル 10^{-4} の設計荷重に基づき算定すること。

- (1) 縦通防撓材にあっては、以下による。
 - (a) 検査要領 C 編 附属書 C1.1.23-1。この場合、補正係数は 1.0 とする。
 - (b) 規則 ~~CSR-T~~CSR-B&T 編 付録 ~~C1~~ 編 9 章
- (2) 船型の浮体施設の縦通防撓材以外の部材にあっては、規則 ~~CSR-T~~CSR-B&T 編付録 ~~C1~~ 編 9 章による。

附 則

1. この達は、2015 年 7 月 1 日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 施行日前に建造契約*が行われた船舶にあっては、この達による規定にかかわらず、なお従前の例によることができる。
* 建造契約とは、最新の IACS Procedural Requirement(PR) No.29 に定義されたものをいう。

IACS PR No. 29 (Rev. 0, July 2009)

英文（正）

1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.
2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels”

仮訳

1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。
2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1 つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更には

if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:

- (1) such alterations do not affect matters related to classification, or
- (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.

The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.

3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.
4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.

Note:

This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.

あつては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。

- (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、
- (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。

オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。

3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2. に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。

備考：

本 PR は、2009 年 7 月 1 日から適用する。